



2024年2月14日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 遠 藤 製 作 所
代 表 者 代 表 取 締 役 社 長 渡 部 大 史
(東証スタンダード・コード7841)
問 合 せ 先 専 務 取 締 役 石 原 睦
役 職 ・ 氏 名 経 理 財 務 部 担 当
電 話 番 号 0 2 5 6 - 6 3 - 6 1 1 1

中期経営計画の策定に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において2026年12月期を最終年度とする「中期経営計画」を策定しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 中期経営計画策定の背景

当社は、「限りない未来の創造」という企業理念のもと、1950年に創業し金属製品を作り続けてまいりました。

創業当初はミシンドライバー等の製造から始まり、その後は、鍛造の技術を確立するとともに、当社の主力であるゴルフクラブヘッドを作り、現在では自動車部品、医療機器、航空機部品等の精密鍛造製品等の製造をし続けております。

中期経営計画では、「Ⅰ. 事業ポートフォリオの再構築」「Ⅱ. 経営基盤の強化」「Ⅲ. 資本効率の向上」の3点について重点的に取り組みます。

当社は、これまでの歴史を継承し中期経営計画を実行することで、すべてステークホルダーと共にグループの持続的な成長につなげていきます。

2. 計画期間

2024年12月期から2026年12月期（3年間）

中期経営計画の詳細につきましては、添付の資料をご参照ください

以上

中期経営計画

2024 ~ 2026

ENDO MANUFACTURING CO., LTD.

株式会社 遠藤製作所





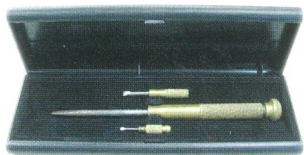
目次

- 遠藤製作所のあゆみ
- 経営理念
- 中期経営計画の骨子
 - I. 事業ポートフォリオの再構築
 - II. 経営基盤の強化
 - III. 資本効率の向上財務戦略
- サステナビリティ

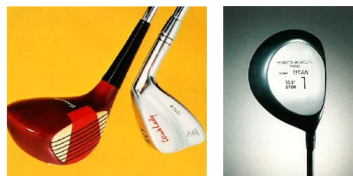
遠藤製作所のあゆみ

株式会社遠藤製作所は1950年、金属加工のまち燕三条で創業し金属製品を作り続けてまいりました
ミシンドライバーから始まり調理器具、ゴルフ用品、自動車・OA機器部品、医療機器など時代を捉えて多角化してきました

高品質なミシンパーツを製造



メタルヘッドに挑戦し、
世界有数のOEM鍛造メーカーへ



タイに進出、自動車部品、
ゴルフクラブヘッド等を生産



飛行機エンジンパーツ製造・販売を開始、
当社独自の製造方法を確立



1950 - 1970

1970 - 1990

1990 - 2010

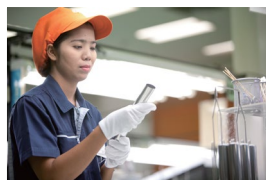
2010 - 2030



研磨工場の様子



温間絞りプレスの
技術を開拓



世界初
金属の薄肉製品を実現



チタン加工技術を応用し
人工関節の製造へ



JASDAQスタンダード
市場へ上場

経営理念 『限りない未来の創造』

『時代は常に大きく進化していく 企業はその流れについていけるだけの適応力を必要とする
時代が要求する技術を育み その技術で新たな時代を開拓し より良きものに挑戦しつづける 事業活動を営む
人は無限の可能性を秘めているように 事業もまた無限の発展性を秘めている
限りない未来を創造することが社員の幸せと企業の繁栄 ひいては社会への貢献を果たすことにつながる』

創業100周年（2050年）へ向け、これまでの歴史を継承し
新たな未来へと挑んでいく思いを込め、ロゴをリニューアルしました



中期経営計画の骨子（2024 – 2026）

これからも独自の存在価値を発揮し続けるために、2024年～2026年までの3か年の計画を策定しました

数値目標（2024 – 2026）	
売上高	180億円
営業利益	18.5億円
ROE	5.0%以上
配当性向	30%



実施事項

I. 事業ポートフォリオの再構築

- 事業や市場の特性等を踏まえたポートフォリオの再構築
- 新技術導入、M&A、アライアンス活用による新たな価値の創造
- 生産コスト最適化と品質安定化による市場拡大

II. 経営基盤の強化

- 遠藤製作所が目指す姿を実現するための人材戦略の実行
- 基幹システムの刷新／統一によるデータドリブン経営の基礎づくり
- グローバルレベルでのシームレスな組織連携の基盤構築

III. 資本効率の向上

- 利益成長と安定した配当を実現するためROEの目標設定
- 成長投資と株主還元の推進
- 新たな成長機会の獲得に向けた積極投資

1. 事業ポートフォリオの再構築

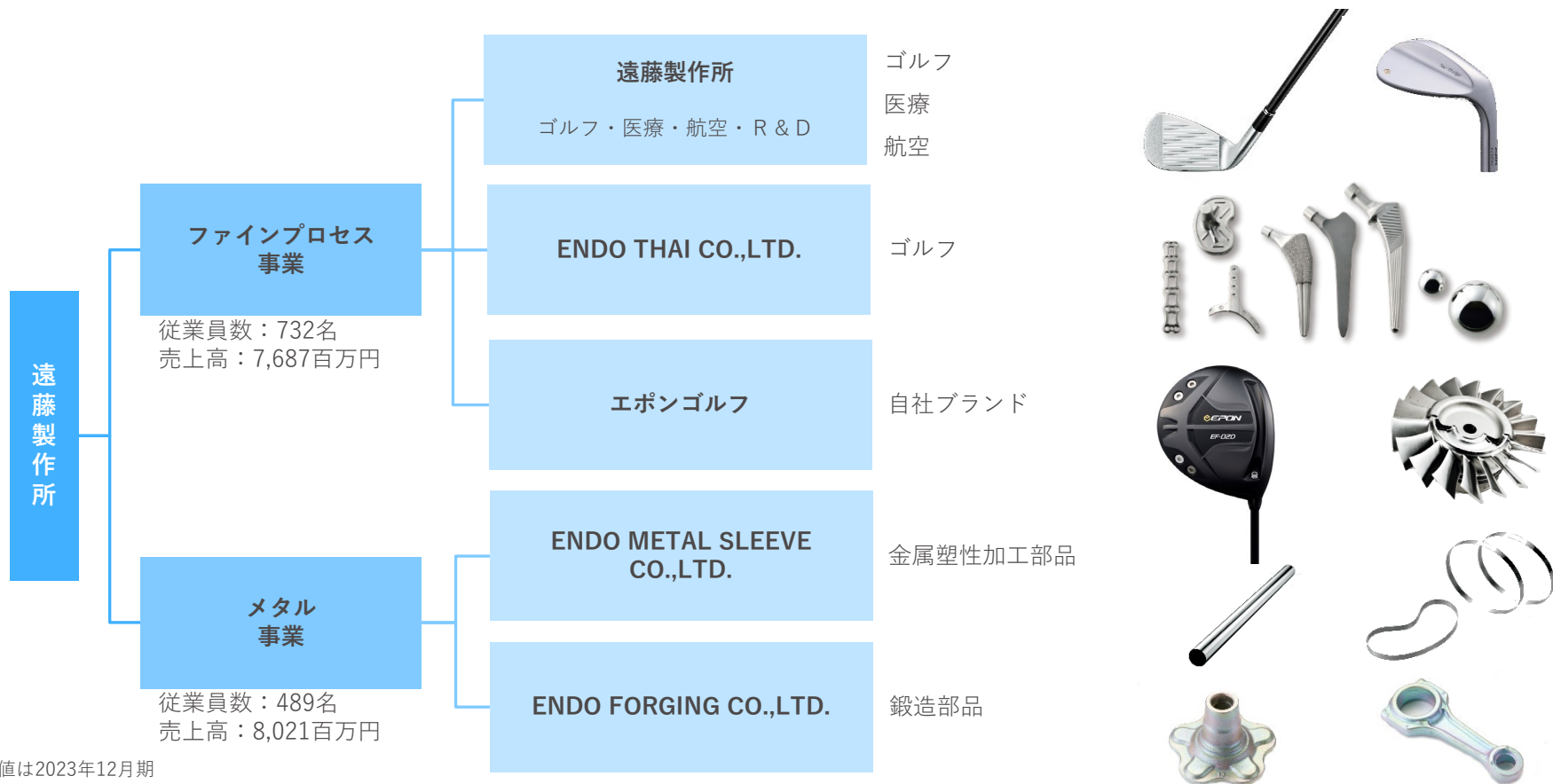
事業や市場の特性等を踏まえたポートフォリオを再構築し、
ファインプロセス 事業
メタル 事業
の2体制とし、経営の意思決定の迅速化を図ります

目的

- 事業ドメイン／事業特性に基づいたポートフォリオに再編することで、共通部分を合理化し開発リソースを拡大
- 組織間シナジーを発揮しやすい環境を整備すると共に、投資効率の向上を狙う

旧組織	新組織（事業）	対象市場
ゴルフ事業部 ゴルフ 医療機器 航空機	ファインプロセス 事業 ゴルフ 医療機器 航空機	・高付加価値製品のニッチ／プレミアム市場
鍛造事業部	メタル 事業 鍛造 メタルスリーブ	・量産型の汎用製品市場
メタルスリーブ事業部		

1. 事業ポートフォリオの再構築



Ⅰ. 事業ポートフォリオの再構築 「ファインプロセス 事業」

独自性のあるプロセスを繋ぎ合わせ、更なる売上拡大と生産コスト最適化による利益の最大化を図ります

	実績 (2023年12月期)	中期事業目標 (2026年12月期)
売上高	76億円	85億円
営業利益	13億円	16億円

※ 内部消去前の営業利益

重点ポイント

① R&D体制の推進

② 売上拡大

③ 事業拡大

④ 生産コストの最適化

⑤ サプライチェーンの安定化・強靱化

アクションプラン

- 新製品開発を目指した新技術の確立
- 製法に拘らない『ENDO製』の確立
- 海外市場の強化
- APAC地域におけるContract Manufacturerの地位確立
- 積極的なアライアンスやM & A
- 「強み」を持続的に強化
- 省力化や自動化による生産性向上と品質安定化
- ロボット導入などによる自動化／省力化
- 開発したレーザー検査機の適用工程の拡大
- 価格競争力がありながらバラツキが少なく美しい製品を安定供給
- チタン、コバルト等のレアメタル材料を安定かつ安く調達できる仕組みの構築

1. 事業ポートフォリオの再構築 「メタル 事業」

汎用性のある技術を追求し、生産コスト最適化と安定的な供給力を元に更なる市場拡大を図ります

	実績 (2023年12月期)	中期事業目標 (2026年12月期)
売上高	80億円	95億円
営業利益	4億円	8億円

※ 顧客への売上及び内部売上を含む
※ 内部消去前の営業利益

重点ポイント

① 売上拡大

② 生産コストの最適化

③ 基盤の強化

④ 人的資本の活用

⑤ 事業拡大

アクションプラン

- 顧客に入り込んだ新規製品の開発
- 製品の多角化、輸出としてのタイ拠点を活用し他国メーカーへの参入検討
- 生産性向上と品質の安定化
- 省力化や自動化によるコスト最適化
- 多能工化による少人化
- ネットシェイプ鍛造の強化
- 歩留まりの向上、短納期化の促進
- 従業員の現場管理能力および技能スキルアップ
- ISO管理手法を忠実に守り改善活動を実施
- 鍛造技術の承継
- 職人技を計画的に、後継へ承継
- 新技術、新顧客、新たな資源の獲得
- M & A の手法による戦略的投資での獲得

II. 経営基盤の強化 「人的資本基盤」

人材の重要性がより高まる時代の中で、常に新たな分野の開拓を推し進めるために強固な人的資本基盤を構築します

目的	主な取組み
1. 経営戦略実行のための人材育成と流動性	強固な基盤づくりに向けて人材の育成と主体性を発揮できる魅力的なミッションの付与、共創のための仕掛けを講じていきます
2. 戦略的健康経営の実施	業務パフォーマンスの維持・向上および退職後も生き生きと過ごせる健康寿命を延伸のために、一人ひとりが自律的に自分の心身の健康づくりを行えるヘルスリテラシー向上に向けて健康経営に取り組みます
3. 魅力的な働く環境づくり	一人ひとりが当社で働くことに向き合い、働き方の選択肢を増やすことや働く上での負担を減らすことで、社内外の優秀な人材の確保を目指します
4. ダイバーシティの推進	多様な社員が強みを発揮し共創する集団となるため、グループ全体のダイバーシティ & インクルージョンを推進するための人事データのDX化を推進していきます

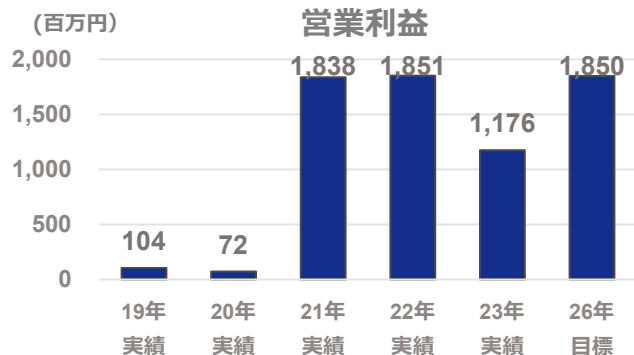
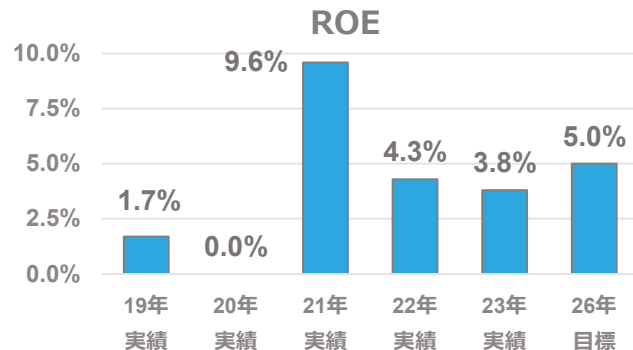
II. 経営基盤の強化 「デジタル経営基盤」

デジタル技術が大きく変化していく時代の中で、
データを基にスピーディかつ的確な意思決定を実現するデジタル経営基盤を構築します

目的	主な取組み
1. デジタル経営を推進する組織体制の構築	DXを主導する組織体制の構築と人材育成を図り、デジタルを軸に成長戦略の実現を後押しします
2. 製造プロセス高度化へ向けたインフラ基盤の構築	セキュアで柔軟性のあるITインフラ基盤を構築し、トレーサビリティ体制の構築・設備運用の高度化、品質マネジメントの強化等サプライチェーンの安定化・強靱化やコスト最適化を推進します
3. シームレスな組織間連携へ向けたアプリケーション基盤の構築	グローバルレベルでシステム統合基盤を構築し、グローバルなビジネスオペレーションの標準化を推進します

Ⅲ. 資本効率の向上

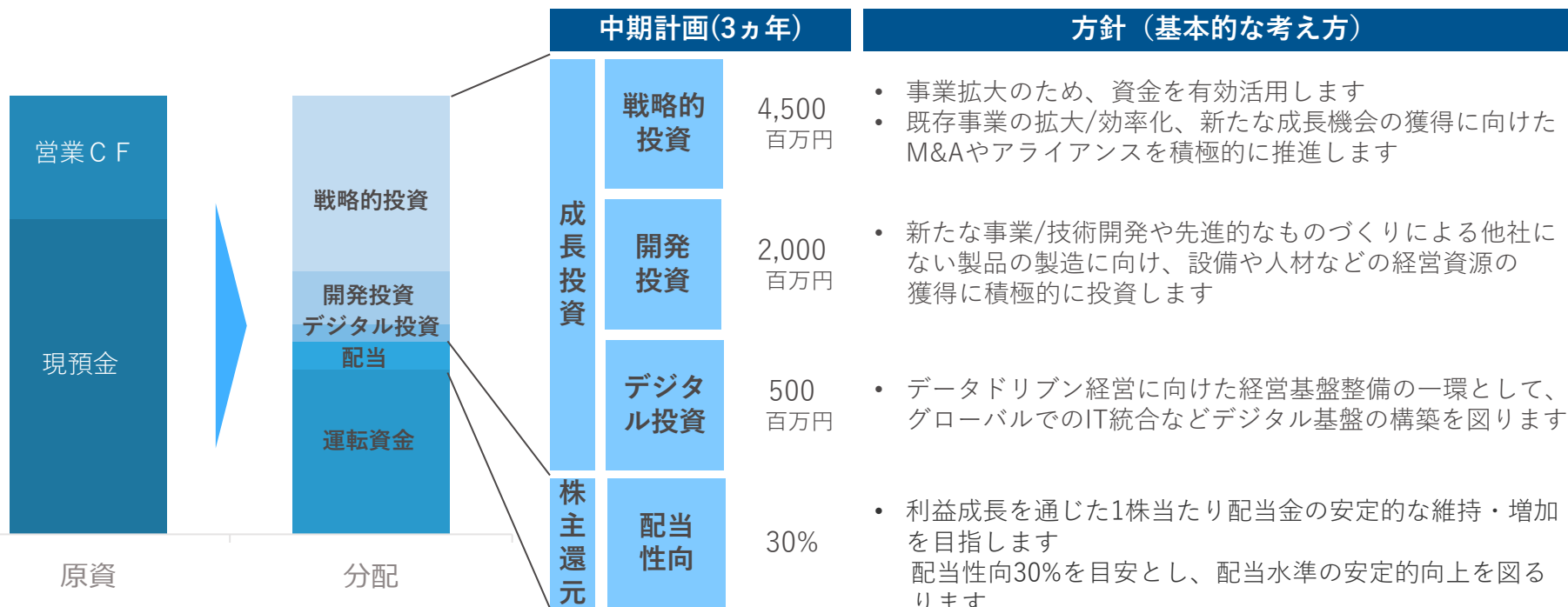
ROEの水準を安定的に5%以上の達成を目指し、成長分野への優先的な経営資源の投入に注力して「持続的成長」と「資本効率」を重視した財務戦略を推進することで、企業価値向上を実現します
 新型コロナ禍での、一時のゴルフブームのピークは落ち着きをみせているが、利益水準の継続を目指します



	2023年度 12月期	2026年度 12月期目標
売上高 (百万円)	15,709	18,000
営業利益	1,176	1,850
ROE	3.8%	5%以上

Ⅲ. 資本効率の向上 「成長投資と株主還元」

キャッシュアロケーション方針に基づき成長投資と株主還元の双方を推進
 次世代の成長への投資を積極的に実施するため、保有の現預金を活用いたします
 株主還元については配当性向30%を目安とし、配当水準の安定的向上を図ります



持続可能な社会の実現は、
経営理念である『限りない未来の創造』の実践のためにも必須であると当社は考えています
2024-2026にかけそのための基盤づくりを行います

環境

「環境課題の解決に向けた取組み推進」

- 優先課題の選定と実行計画の策定、トライアル
- 環境マネジメント体制の構築と継続的な改善活動
- 気候変動対策への取組

社会

「より豊かな地域社会の実現に向けた取組み推進」

- 優先課題の選定と実行計画の策定、トライアル
- 人権尊重へのコミットメント
- 地域社会との共存

ガバナンス

「グローバルガバナンスの更なる高度化へ向けた取組み推進」

- コーポレートガバナンス体制の強化
- リスクマネジメント強化のための体制構築と課題選定
- 継続したコンプライアンス徹底



ENDO

株式会社 遠藤製作所

ENDO MANUFACTURING CO., LTD.



本資料における 注意事項

本資料は連結ベースで作成しております。

本資料は投資家の参考に資するため、株式会社遠藤製作所（以下、弊社）の現状を理解して頂くため発表済みの決算内容や業績予想について作成したものです。

本資料に記された内容は、現時点において一般に認識されている経済・社会の情勢及び弊社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化や感染症の発生・まん延等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。

<お問い合わせ先>

株式会社遠藤製作所 経営戦略本部

TEL : 0256-63-6111 FAX : 0256-62-6118

E-mail : e-mail@endo-mfg.co.jp

URL <http://www.endo-mfg.co.jp>